

## 市民自治活動の支援及び協働の推進に必要な事項の評価（案）

条例第21条「市の執行機関の施策」に規定される市の執行機関が行うべき支援等について評価、分析します。

※条例第21条「市の執行機関の施策」

市の執行機関は、市民自治活動を支援し、コミュニティとの協働を推進するために、次に掲げる施策を実施するよう努めるものとする。

- (1) 日進市が設置する活動拠点の管理運営に関すること。
  - (2) 市民自治活動への助成に関すること。
  - (3) 市民自治活動に関する情報の受発信に関すること。
  - (4) コミュニティにおける交流の場づくりに関すること。
  - (5) コミュニティ及び市職員の人材の育成等に関すること。
  - (6) 前各号に掲げるもののほか、市民自治活動の支援及び協働の推進に必要なこと。
- 2 市の執行機関は、前項各号に掲げる施策を実施するに当たり、必要に応じてコミュニティと連携を図るよう努めるものとする。

- 評価指標として、経年変化を把握する定量的指標（基本指標 表1）と、さらに詳細に評価をするため、市民意識調査等を活用した定性的指標（表2）を組み合わせ、評価、分析します。

表1：経年変化を把握する定量的指標＝基本指標

（基準：不変的かつ経年変化を把握する必要があるもの）

対象	対応する条例各号	基本指標
テーマ型 コミュニティ	(1)	にぎわい交流館登録団体数
	(1)	にぎわい交流館会議室利用者数、団体利用件数
	(1)	中央福祉センター登録団体数
	(1)	中央福祉センター会議室利用者数、団体利用件数
	(2)	市民自治活動団体との協働事業数
	(2)	大学との協働事業数
	(3)	にぎわい交流館チラシ設置件数
	(5)	市民のNPO・ボランティアへの参加率
地縁型 コミュニティ	(5)	市民のNPO・ボランティアへのスタッフとしての参加率
	(4)	地域活動への参加率 (地域の行事・お祭り等イベント)
	(4)	地域活動団体数 (自主防災会、自主防犯会、子ども会、老人クラブ、家庭教育推進委員会、つどいの場(ほっとカフェ、ふれあい・いきいきサロン、ぷらっとホーム、にっしん体操スポット))
	(5)	地域活動への役員等としての参加率
	(6)	区・自治会加入率

表 2：基本指標（定量的指標）と組み合わせて評価する定性的指標

対象	定性的指標
テーマ型 コミュニティ	市民活動がしやすいと感じる団体の割合 市民活動が活発であると感じる団体の割合
地縁型 コミュニティ	地域活動が活発であると感じる市民の割合

◎評価・分析

1 基本指標による評価・分析

(1) 経年の数値等を比較、分析

(2) 市民活動団体の精力的活動割合分析

市民自治活動の拠点施設であるにぎわい交流館と中央福祉センターの利用状況を、その登録団体（人数）の状況と比較することにより、活動状況を分析します。

① 団体ベース

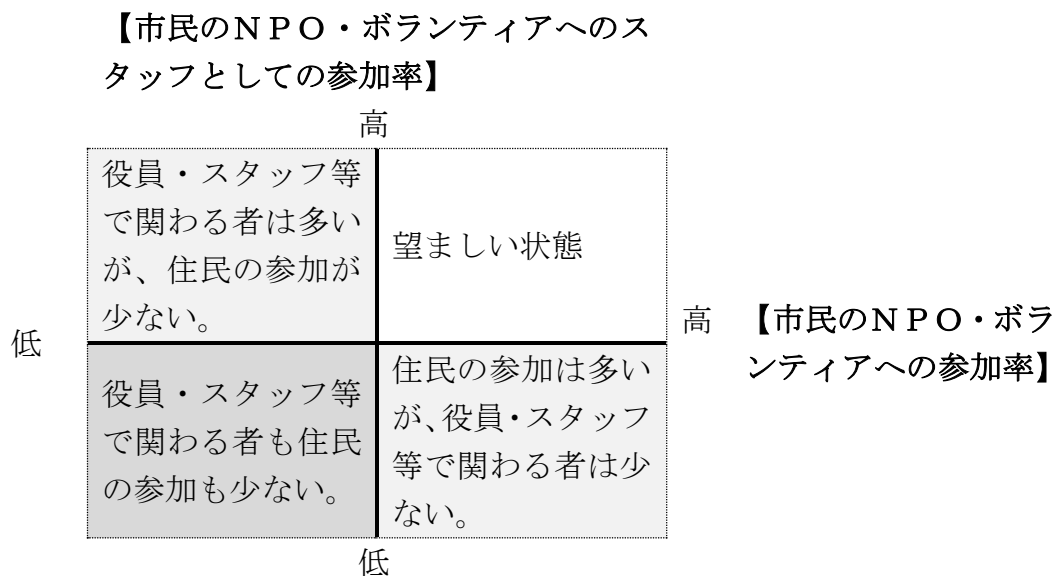
- ・にぎわい交流館会議室等利用団体数 / にぎわい交流館登録団体数
- ・中央福祉センター会議室利用団体数 / 中央福祉センター登録団体数

② 人数ベース

- ・にぎわい交流館会議室年間利用者数 / にぎわい交流館登録団体構成員数（年間）
- ・中央福祉センター会議室年間利用者数 / 中央福祉センター登録団体構成員数（年間）

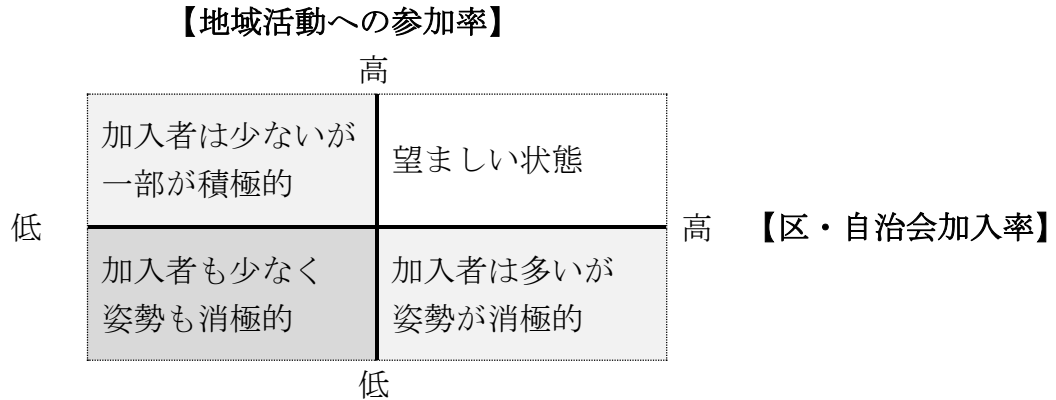
(3) NPO・ボランティア活動の活性化状況分析

「市民のNPO・ボランティアへの参加率」と「市民のNPO・ボランティアへのスタッフとしての参加率」の両者を下記のグラフに当てはめた場合に、どの領域に属するかで、地域ごとのNPO・ボランティア活動の現状を把握し、地域ごとの特徴にあった支援の方向性を探ります。



(4) 地縁型コミュニティのクロス分析

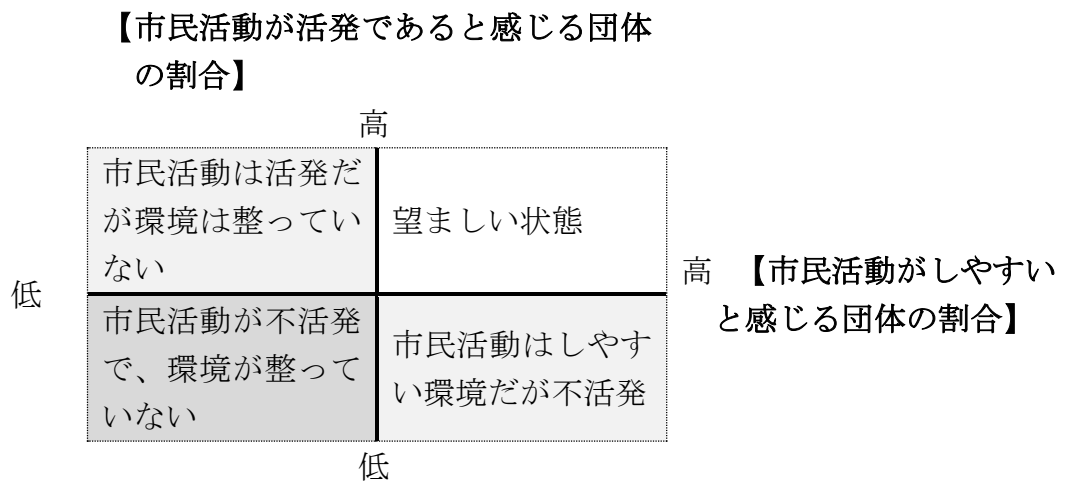
「区・自治会加入率」と「地域活動への参加率」の両者を下記グラフに当てはめた場合に、どの領域に属するかで地域ごとの地縁型コミュニティの現状を把握し、地域ごとに状況に応じた支援の方向性を探ります。



2 定性的指標による評価・分析

- (1) 経年の数値等を比較、分析
- (2) 市民活動の活性化状況分析①

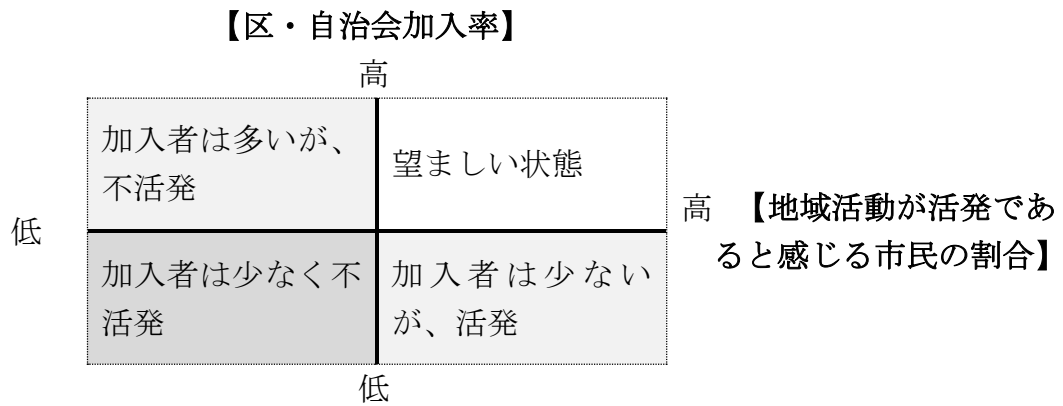
「市民活動が活発であると感じる団体の割合」と「市民活動がしやすいと感じる団体の割合」の両者を下記のグラフに当てはめた場合に、どの領域に属するかで市民活動の活性化状況を把握し、状況にあった環境の整備等の方向性を探ります。



### 3 基本指標と定性的指標を組み合わせ、評価・分析

#### (1) 地域コミュニティの活性化状況分析

「区・自治会加入率」と「地域活動が活発であると感じる市民の割合」の両者を下記グラフに当てはめた場合に、どの領域に属するかで地域ごとの活性化状況を把握し、地域ごとに状況に応じた支援の方向性を探ります。



#### (2) 市民活動の活性化状況分析②

「にぎわい交流館登録団体数」と「市民活動がしやすいと感じる団体の割合」の両者を下記のグラフに当てはめた場合に、どの領域に属するかで、市民活動の活性化状況を把握し、状況に応じた支援の方向性を探ります。

